

神戸大学 Catapult Pitch Series Vol.18

2026.03.25(水)

17:00-18:30

参加費：無料
申込はこちらから

>>>>>



社会課題と 大学発イノベーションの交差点

Time table

16:30-：開場

17:00-17:05：オープニング

17:05- 17:20：「社会起業家とは何か？」
株式会社taliki 角田 直樹

17:20- 17:25：KOBE SOCIAL PORT紹介

17:25- 17:45：神戸の社会起業家ピッチ

Yellow Duck株式会社
代表取締役／CEO 中山 繁生

KOBE SOCIAL PORT プログラム生

zzzMate(ズズメイト)
代表 鈴木麻誉

NFarm
代表 鈴木佳明

ZBOSAI合同会社
代表 谷口隆英

17:45-18:15クロスセッション
taliki x 神戸大学 x 社会起業家
「社会課題と大学発イノベーションの交差点」

18:15-：ネットワーキング・名刺交換会

18:30：閉場

Location

〒657-0013

神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学 産官学連携本部1F

ダイセルOIホール

アクセス詳細>>



大学の研究は、本質的に「社会課題の解決」という使命を内包しています。

神戸大学では、KUI・KUC等の関係機関と連携しながら、大学発スタートアップの創出および研究成果の社会実装を推進しています。また近年では、大学発に限らず、外部スタートアップが大学と共同研究を行い、事業を創出する事例も増えています。

本企画では、神戸大学が有する「知」と「技術」と、KOBE SOCIAL PORTが有する「地域」「当事者」「社会課題との接点」を重ね合わせます。研究・技術に公共性の視点を重ねることで、社会実装を加速させる連携モデルを模索します。

Cross Session



株式会社taliki

インキュベーションマネージャー 角田直樹

フィンテック企業で企画業務を経験後、LITALICOやKaizenなど障害福祉分野の事業会社で新規事業に携わる。現在はtalikiで社会起業家の支援に従事。

Yellow Duck株式会社

代表取締役／CEO 中山 繁生

東日本大震災を契機に未利用再エネ研究を開始。

2022年NEDO賞受賞。2023年、海洋エネルギーの社会実装を目指しYellow Duck株式会社を設立。



株式会社神戸大学イノベーション

代表取締役社長 河上 哲也

三井住友銀行にて法人営業・公共マーケットなどを担当し、兵庫県・神戸市と連携しスタートアップエコシステム形成やウォーターフロント再開発など地域活性化に尽力。2025年6月より株式会社神戸大学イノベーション代表取締役社長

Speaker



zzzMate(ズズメイト)
代表 鈴木麻誉



NFarm
代表 鈴木佳明



ZBOSAI合同会社
代表 谷口隆英



【共催】神戸大学 産官学連携本部・KOBE SOCIAL PORT・株式会社神戸大学イノベーション

【後援】神戸商工会議所

【お問い合わせ】ksui-sangaku@office.kobe-u.ac.jp

■セッション紹介(登壇順)

「社会課題解決を志す起業家を神戸から増やす」

株式会社taliki インキュベーションマネージャー 角田直樹

KOBE SOCIAL PORTは、令和7年度より神戸市の分野特化型インキュベーション支援事業として採択。神戸から社会課題解決を志す起業家を増やし、育成することを目的とし、教育プログラム、アクセラレーションプログラム、コミュニティを運営。社会課題の解決を起点にバックキャスト思考を取り入れた事業化伴走支援について紹介。

「海の再生可能エネルギーを利用した浮かべる発電技術の概説」

Yellow Duck株式会社 代表取締役／CEO 中山 繁生

Yellow Duck株式会社が取り組む独自の発電技術「浮かべる発電技術」について、開発背景および技術的優位性を概説します。洋上電源の創出に向けた世界的な開発競争の中、日本が洋上発電に取り組む戦略的意義の考察とともに、分散型電源の構築を通じた新産業創出へのロードマップについて展望します。

「大学とスタートアップの協働で知を社会課題に実装する」

株式会社神戸大学イノベーション 代表取締役社長 河上 哲也

神戸大学イノベーション（KUI）は、大学の研究成果を社会に実装するための拠点として、スタートアップとの連携を推進している。クロスセッションでは、大学とスタートアップがどのように協働し、研究を社会課題解決へとつなげていくのか、その役割と可能性について説く。

「睡眠をもっと身近なヘルスケアに。睡眠ケアギフトの社会実装」

zzzMate(ズズメイト) 代表 鈴木麻誉

現代女性の約8割が睡眠に悩みを抱えている一方で、具体的な改善に至っているのは半数以下という現状がある。本事業は睡眠を「自分を整える力」と再定義し、各分野の専門的知見を「ギフト」という形に集約して提供。産後ケアを皮切りに、ライフステージに伴う睡眠課題を解決する新たなセルフメディケーションのインフラ構築に挑む。

「畑で遊んで、社会課題を解決しよう」

NFarm 代表 鈴木佳明

日本は2021年にFAOから飢餓国と認定。食料・種・肥料・飼料の多くを輸入に依存し脆弱化している。外部資源不要の自然農モデルを三田市で実践し、肥料・農薬・水やり・耕起不要を検証中。異常気象や病害虫への耐性、絶滅危惧種の再生など多数報告。共同研究者を募集中。

「探求を入り口にした学校防災伴走支援プログラム」

ZBOSAI合同会社 代表 谷口隆英

私立学校の防災は、訓練や発災後対応に課題を抱えつつ、外部からは変えにくい構造がある。中高での探究経験やマダガスカルでのフィールド調査など数多くの探求に「生徒側として」参加してきた知見を活かし、学びを起点に学校内部から防災を変革する伴走支援プログラムを設計した。



■会場アクセス

神戸大学 産官学連携本部 BMO棟
(バイオメディカルメンブレン研究・オープンイノベーション拠点棟)
1階 ダイセルOIホール

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

徒歩：阪急「六甲」駅から約15～20分
(注：全行程急な上り坂です)

バス：阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から
神戸市バス 36系統鶴甲団地行、
鶴甲2丁目止まり行 乗車
「神大文理農学部前」下車